

第5期芽室町総合計画前期実施計画の評価及び後期実施計画の考察（所管事業分）

厚生文教常任委員会

**【2-1-1 学校教育の充実】**

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・ G I G A スクール構想の進展により I C T 環境が大きく前進した。
- ・ 不登校支援システムによる児童生徒への学習支援体制が確立したことは意義がある。
- ・ I C T 導入による学力向上はしっかりみていく必要がある。また機器の更新計画も確認が必要。
- ・ 不登校の増加に対する取り組み強化が必要。
- ・ 成果指標③「朝食を毎日食べている」とするべきか疑問（朝食が大事なことはわかるが、家庭環境の問題が大きいのではないか）
- ・ 外部評価意見を参考に後期実施計画に溶け込ませる。
- ・ 不登校児童・生徒が増加傾向にあるため、支援システムがどのように機能していくのか注視が必要。
- ・ I C T について健康面での不安があるため、保護者と学校との相談体制構築や専門家の話を聞く場があってもよい。
- ・ 国の方針の中、大きく進められたと思う。さらに充実させることが必要。

**【2-1-2 社会教育の充実】**

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・ C S は実績の積み重ねがしっかりできておりコーディネーターやボランティアと学校との関係が子どもだけでなく教員へもよい影響を与えている。C S の P R より実績を積み重ね町民理解を深めてほしい。
- ・ C S の推進という意味でも地域全体で教育を推進する取り組みを強化する。子ども会の取り組みなどにもつながればよい。
- ・ コロナ禍ということもあり、この評価指標では評価しづらい。
- ・ 外部評価意見を参考に後期実施計画に溶け込ませる。
- ・ C S についてはさらに取り組みを深化させていくことが必要。

### **【2-2-1 地域文化の振興】**

・施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・ふるさと歴史館の活用については、後期計画にぜひ盛り込むべき。
- ・地域集会施設の再整備が進む中、地域の貴重な資料が適正に保存されることが重要。
- ・外部評価意見を参考に進める。
- ・町の文化財について今一度見直し、保存や継承に向けた取り組みを進めていくべき。
- ・ふるさと歴史館の活用も後期計画に盛り込み、取り組みことが必要。

### **【2-2-2 スポーツしやすい環境づくり】**

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・社会体育施設整備は多額の費用が想定される。無駄はないのか、将来展望など納得できる説明を求めたい。
- ・プール跡地利用、ソフトボール場など再整備の方向を示すべき。
- ・体育会、関係団体との連携はより強化すべき。部活動のあり方も含めて今後取り組んでいくべき。
- ・外部評価意見を参考に教科できるよう後期実施計画に盛り込む。
- ・総合体育館周辺の再整備については、町全体の体育施設も俯瞰しながら取り組みが必要。
- ・指導者不足はどこも課題であり、対策が求められている。
- ・コロナの問題で進むことができない状況下で、評価できないことが多い年であった。

### **【3-1-1 生涯を通じた健康づくり】**

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・特定健診は自己負担額負担軽減や若年層などへの対策を着実に実施してきている。
- ・食育はそれぞれの担当事業において着実に進んでおり、全体としての役割は見直してもよい。
- ・特定健診の受診料の軽減、定額化の取り組みは評価する。受診率向上につながればと期待している。
- ・国の計画に則り、住民の福祉向上につながる計画とする。
- ・特定健診は取り組みが進められており評価するが継続が必要。受診率向上が最終目的ではなく健康的な生活習慣と健康づくりへの意識向上にあることを忘れずに取り組むべき。
- ・よく取り組みを進めている。

### **【3-1-2 公立芽室病院の総合的な医療体制の維持・発展】**

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・コロナ感染症に伴う国や道からの補助金で経営状況は改善したが、今後は病院経営本体での経営安定化を目指していかなければならない。プランの実行が成果としてあらわれていないと思う。
- ・コロナ後を見据えた方針の大幅な転換が必要。まずは経営の安定化と役割の明確化に注力が必要。
- ・公立病院としてコロナ患者の受け入れは大きな地域医療への貢献と考える。この時期の病床削減はいかがかと思う。
- ・より住民に寄り添い、安心感のある病院となるように計画に溶け込ませる。
- ・改革プランを立てて取り組む中でコロナ禍となり今後の地域での役割については、あらためて明確化していく必要がある。
- ・経営的な（金銭的）ことだけではなく、地域に果たす役割、どうしたら地域に必要とされる病院になれるのかという大きな視点で取り組みを進めていくことが重要。
- ・包括ケアシステム、今後最も必要になってくる。

### **【3-2-1 安心して生み育てることができる子育て支援】**

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・産前産後のサポートから保健師等がかかわり、きめ細やかな支援体制が構築されている（子育て世代包括支援センター）。
- ・病児保育も町内に整備され、子育て環境はより充実してきている。
- ・少子化対策の大幅な投資
- ・外部評価意見を参考に。
- ・きめ細やかな支援体制が構築されている。さらなる拡充が必要（少子化対策含め）。

### **【3-2-2 子育て環境の充実】**

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・R5に向けて子どもセンターの民間委託が進められる。人材確保が課題であり、民間委託により安定的に専門的にサービスを提供できることはよい。
- ・保育事業の事故再発防止を大きく掲げるべき。
- ・外部評価意見を参考に後期実施計画に溶け込ませる。
- ・再発事故防止に向けた全町的な情報共有と対策が必要。

### **【3-3-1 地域で支え合う福祉社会の実現】**

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・高齢化の進展により地域で支え合いの必要度が増しているが、コロナ禍で思うように活動も進まなかったと考える。現状の取り組みを進めてほしい。
- ・町内会活動の低下とも大きく連動。相当なてこ入れが必要。
- ・外部評価意見を踏まえつつ、施策に係る取り組みが発展できるよう計画する。
- ・町内会役員、民生委員のなり手不足にもあるように地域での関係性の希薄化が進んでいる。取り組み強化が必要。

### **【3-3-2 高齢者福祉の充実】**

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・第8期から介護予防施策の充実がはかられている。
- ・年齢にかかわらず、高齢者が孤立しない取り組みは必要であり、施策の方向はよい。
- ・高齢者の活躍の場をつくる（働く場所含む）
- ・外部評価意見を参考に進める。
- ・地域包括支援センターの外部委託によって、行政が全体を俯瞰して医療と福祉をつなぎ、地域包括支援システムの構築に向けて主体的に取り組むことが必要。

### **【3-3-3 障がい者の自立支援と社会参加の促進】**

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・職場実習が委託事業へとつながる事例もあり、就労の場は拡大している。また通勤支援体制の構築も具体化している。
- ・グループホームなどは需要に対して供給が足りていない。民間活用の拡大。
- ・施策に係る取り組みが発展できるよう計画する。
- ・生活体験住宅、グループホームなど整備は進んできている。就労支援だけでなく、住まい、生活支援についても取り組みを進めていく必要がある。
- ・少しずつ進められている。今後も全体のバランスのもと進めてほしい。

### **【3-4-1 互いに認め合う地域社会の形成】**

施策の課題認識と方向性は概ね正しい。

<出された意見>

- ・コロナ禍で予定した事業が実施できず、意識啓発は限定的な活動となった。
- ・3-3-2と連動する。高齢者の権利という考え方よりも、より活躍できる場をつくると

いう方向で考えるべき。

- ・ 外部評価意見を参考に評価できるよう後期実施計画に盛り込む。
- ・ 成年後見制度については今後ニーズが高まっていくことが考えられるため取り組みを進めていくことが必要。